

## 第4次糸満市総合計画（抄）

- ① 施策の大綱（1. 人や文化のつながるまち（教育と文化）） 8～9ページ
- ② 施策の体系 18ページ

## 第6節 施策の大綱

### 1.人や文化のつながるまち（教育と文化）

#### （1）家庭・地域の教育力の醸成

人は、家庭や地域との関わりの中で生まれ、社会における規範を守り、地域の一員を自覚し、新しい社会の一員として成長していくことが期待されています。

しかし、情報化、核家族化の進行や価値観の多様化により、家庭や地域における人と人のつながりが希薄になり、様々な社会的問題が顕在化しつつあります。

このような社会状況の中にあって、家庭や地域の教育力の充実が幸福な社会基盤をつくる基本であるとの認識のもとに、地域・学校・各種団体等及び行政が連携して家庭・地域の教育力の醸成に努めます。

#### （2）生涯学習社会の形成

生涯学習においては、市民一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送るために、あらゆる機会に、あらゆる場所で学習し、その成果を適切に生かすことができる社会の実現に努めます。

そのため、図書館や中央公民館等の社会教育施設や自治公民館の有効活用をはかり、市民や社会教育団体の学習ニーズに応じた情報・学習活動の提供と、青少年・成人・婦人・高齢者等を対象にした研修など、地域づくり・人づくりを推進します。

また、次世代を担う青少年の健全育成を目指し、家庭・学校・地域の連携をはかります。

#### （3）学校教育の充実

生涯にわたる学習の基礎を培い、豊かな心を持ち、たくましく生きる人材を育成するために学校教育の充実をはかり、子どもたちの能力と個性が発揮できる環境整備を進めていきます。そのために、基本的な知識・技能の確実な習得をはかるとともに、知識・技能を活用する学習活動を充実させ、思考力・判断力・表現力等を育み「生きる力」を身に付け、知・徳・体の調和のとれた人間の育成を目指していきます。

道徳教育の推進や特別活動・環境教育・食育等の充実をはかり、心身ともに健康な児童生徒の育成を進めていきます。また、異文化について理解を深め、協調して生きていく資質や能力を育み、国際化や情報化の急速な進展に対応できる広い視野を持った人材を育成していきます。

多様な児童生徒に対応し、それぞれの個性を最大限に伸ばせる魅力ある学校づくりに向け、学校施設・設備の整備・充実をはかるとともに、教職員研修の充実にも努め、教職員の資質能力の向上をはかっていきます。

教育施設については、環境配慮、情報化、耐震化、バリアフリー化等の対応を推進していきます。

学校における地域人材の活用及び保護者や地域住民の声を反映させるなど、特色ある・信頼される学校づくりを目指し、学校教育の充実をはかっていきます。

#### (4) 市民文化の振興

糸満市は、旧暦文化を大切にされた個性豊かな地域で、今日においてもハーレー・ハーリーや綱引きなどが旧暦で催され、琉球史を彩る歴史・文化が多様なまちです。先祖から引き継がれてきた伝統文化は、市民の誇りであり、ふるさとへの愛着を深めていくものです。また、長く受け継がれてきた地域の祭祀、芸能のたしなみは市民の生きがいとなり、若者文化の振興、市民の新しい文化活動の活性化とあわせて、「文化の和」をつなげていくことが期待されます。

新しい市民文化や地域の伝統文化を振興するために、市民会館の建設に向け努力を続けるとともに、地域の伝統文化の活性化、各種団体や指導者の育成と文化活動拠点の整備を協働で進めます。

#### (5) 生涯スポーツの振興

身近な生活の場にスポーツを取り入れ、市民一人ひとりが生涯にわたり健康で充実した人生を送れるように、市民スポーツの振興を進め、市民の生きがいと健康づくり等、スポーツによるまちづくりを推進します。

市民の中から、沖縄県や日本を代表して大きな大会で活躍できる選手が輩出するよう、スポーツ関係団体との連携強化、指導者や各種スポーツ団体の育成を進め、競技スポーツの底辺の拡大など、市民に夢と希望を与える競技スポーツの振興に努めます。

社会体育施設等の環境を整備・拡充し、市民が気軽にスポーツに親しむ機会を増やし、生涯スポーツ社会の実現をはかります。

# 施策の体系

